

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

アイデンティティは「同一性」と訳されるように「一」ということが必須と考えられる。「多」では困るというのが常識である。多重人格の人には誰もが驚かされるし、あるいは、私と同じ人物があちこちに居たりすると大変なことになる。しかし、「一」にこだわりすぎて、あまりにもキユウクツになっているという感じがする。デイヴィット・ミラーは、彼の『新しい多神論』の日本語版の序に次のように述べている。

「科学技術の出現と新しい黄金時代の到来とともに、新しい、そして人を窒息させる一神論という大きな危険が存在しています。科学技術は西洋の一神論というゆりかごの中で生まれました。そしてそれは、発達するにつれてどんどんと階層的構造をとるようになり、複雑な問題を解決する際に、唯一の答えを求めようとするのです。キリスト教の一神論的な神と、現代社会における一神論とは密接に結びついています。黄金時代に終わりが来ることと関連した恐れや不安に伴って、人々は今やこの新しい、息詰まるような一方向的思考の形式に、とりわけやられてしまいやすくなっているのです。」

たとえば、日本人全体が其のアイデンティティを「右肩上がりの経済成長」という一方向的思考に縛られてしまっていると、現代は全くの閉塞状況ということになる。しかし、そんな単純な考えをなぜするのだろうか。ともかく数字で表せるものを大切にし、

その「成長」をはかる。それが「唯一の答え」になってしまふ。西洋近代をプロモートしてきた「神論的思考」(もちろん、これは一神教と同じではない)に、日本人は縛られすぎたのではないか。このあたりで、多神論的な犠牲に気づかねばならない。

このような状況を破っていくこととして、「ネットワーク・アイデンティティ」ということを考えている。私という人間は唯一の存在である。しかし、それを支え、根づかせるものとして「唯一」のものを探そうとしない。「私」を支えるものは「ネットワーク」である。というと、私 が家族とか友人とかの関係によって支えられることか、と思う人があろうが、それは間違いである。それは、その人との関係の喪失によってアイデンティティが崩れ去るものである。ここに述べている「ネットワーク」は自分の心の中に持つものである。

宗教的な用語を用いるならば、「私」を支えるものを「存在者」ではなく「存在」と考えるのだ。そして、「存在」はネットワークそのものだ。全てが複雑にからみ合っている。それは多であって一である。

ユングは自我の強化という点にあきたらず、自己などという意識を越えた存在を仮定した。このために「非科学的」と言われたり、不可解だと言われたりした。しかし、一九七〇年以後、多くの人が近代自我の偏狭さに気づいて、彼の考えも相当一般の人に受け入れられるようになった。ユングの言う自己と、エリクソンの言うアイデンティティは、ほとんど同様のことを言っている。

考えられる。ただ、自我―自己の軸の重要性などという表現をすると、どうしてもそれは「神論的な堅さ」をもってくる。このことに関しては、次に示すユングに関わるエピソードが端的に答えてくれる。ユングに対して、ある人が「あなたの自己という概念はどうもわかりにくい。もっと具体的に示して欲しい」と尋ねたとき、ユングは「all of you」、つまり「あなたたち全てが私の自己だ」と答えたという。自分の心にある自己は、すなわち外界の全ての人なのである。私の表現で言うネットワークである。ただ、それを自分の内にあるものとして認識することが大切である。ユングの自己は、内界と外界の区別をなくする考えである。

それでは、ユングと同じことを言っているのかということになるが、ユングはやはり自己を「中心」として定義つけたがる。自己はすべての皆さんであると言いながらも、彼は「定義する」段になると、自己を「意識も無意識も含んだ心の中心」という言い方をする。これに対してネットワークは中心を持たないところが特徴的である。その時々に従って、中心的役割をとるものがある

としても、それは恒久的に中心なのではない。この点を強調したいのである。この考えによって「神論的な思考を避けることができる」。

ネットワーク・アイデンティティは、多重人格とは異なる。多重人格の場合は、各人格の間に関係が完全には成立していない。ネットワークの場合には関係がある。しかし、それは中心によって統合されていないところに特徴がある。そんな状態になると、

あいまいになったり、一貫性に欠けるのではないかという危惧が生じる。確かに下手をするとそうなるかも知れないが、そのような状態のなかで、やはり「同一性」を確保する努力をすることによって、その人の個性がミカかれると思われる。

その人間は一人の成人男子であるが、いつも固定した成人男子としてのアウトウが返ってくるのではなく、時に(A)のようであったり、(B)のようであったり、(C)のようであったりしつつ、なおかつ一人の人間としての同一性を他に感じさせる方が、はるかに人間として豊かであるのではなからうか。もちろん場合によって変化するが、そこに一人の人間として同一性を感じさせなくなると、信頼性を失ってしまう。このような一对多のせめぎ合いを生き抜くことによってこそ、その人のアイデンティティが築かれることになるし、それは目標としてではなく、過程としての意味を持つことになるだろう。

国際化が激しい時代に、日本人として生きつつ、国際社会の一員として他国の人々と対等に生き、世界に対して何らかの貢献をしようとするためには、ネットワーク・アイデンティティということを見出す努力をするべきであると思う。

※ 多重人格：一人の人間の内にいくつもの人格が存在していること。

※ デイヴィット・ミラー：アメリカのシラキュース大学の神学教授。

※ ユング（一八七五～一九六二）：スイスの心理学者・精神医学者。「無意識」の研究から、経験に基づく個人的無意識と、人類共通の普遍的無意識との存在を指摘。独自の分析心理学を創始した。

※ 偏狭さ：度量の狭い様。狭量。

※ エリクソン（一九〇二～一九九四）：アメリカの精神分析家・思想家。アイデンティティというライフサイクルについて研究。心理歴史研究を創始した。

※ 恒久的：永遠に変わらない様子。

※ せめぎ合い：互いに争い合うこと。

問一、二重傍線部イ、ニの漢字及び読みとして正しいものを次から選びなさい。

（イ：解答番号1、ロ：解答番号2、ハ：解答番号3、ニ：解答番号4）

- | | | | | |
|-------------|-------|------|------|-------|
| (イ) キュウクツ | 1、笈屈 | 2、窮屈 | 3、究窟 | 4、朽窟 |
| (ロ) 危惧 | 1、きぐう | 2、きが | 3、きぐ | 4、きけん |
| (ハ) ミガ(かれる) | 1、研 | 2、摩 | 3、磨 | 4、削 |
| (ニ) オウトウ | 1、応当 | 2、応答 | 3、応問 | 4、応到 |

問二、傍線部①のように表現されるコンピューターのありさまについての説明として最も適当なものを、次から一つ選びなさい。

（解答番号5）

- 1、黄金時代を現出し、キリスト教の一神論的な神のように偶像化され崇拜されているさま
- 2、一秒間に何億回もの計算を繰り返して、神わざのように迅速かつ正確に計算をするさま
- 3、0と1だけで計算をしているのに、豊かな映像や音の世界を出現させていくさま
- 4、正確に社会を管理・統御し、迅速に唯一の正しい答えを導き出していくさま
- 5、電気のエネルギーのみで作動し、その他のエネルギーを必要としないさま

問三、傍線部②はどんな思考か。最も適当なものを、次から一つ選びなさい。（解答番号6）

- 1、アイデンティティを否定する思考
- 2、閉塞した状況を打開する思考
- 3、キリスト教の神は常に正しいとする思考
- 4、一神教という考え方を崇拜する思考
- 5、正しい答えは一つしかないと考ええる思考

問四、傍線部③について、次の各問いに答えなさい。

(a) 「存在者」とは何か。最も意味の近いものを次から一つ選びなさい。（解答番号7）

- 1、通信網
- 2、他者
- 3、人間
- 4、唯一神
- 5、実存

(b) 「存在」とは何か。最も意味の近いものを次から一つ選びなさい。（解答番号8）

- 1、自分の内にある人々
- 2、かけがえのない地球
- 3、不滅の生命
- 4、永遠の時間
- 5、他人としての自分

問五、傍線部④とあるが、ユングの考え方における「一神論的な堅さ」の例として最も適当なものを次から一つ選びなさい。

（解答番号9）

- 1、自己を中心に置かずに説明するさま
- 2、自己は外界のすべての人であると説明するさま
- 3、自己を自分の内にあるものとして認識するさま
- 4、内界と外界の区別をなくして考えるさま
- 5、自己に「中心」を求めようとするさま

問六、傍線部⑤とあるが、そもそもなんのために「避け」ようとするのか。理由を簡潔に書きなさい。（解答番号10）

- 1、複雑な問題を解決する際に、唯一の答えを求めようとするため。
- 2、数字で表せるものを大切にし、その「成長」をはかるため。

- 3、一神論的思考に縛られた閉塞から抜け出すため。
- 4、自分の心の中にあるネットワークで解決しようとするため。
- 5、自己という、意識を超えた存在を仮定したため。

問七、空欄A～Cに入るものとして不適当なものを次から一つ選びなさい。(解答番号11)

- 1、他人
- 2、女性
- 3、老人
- 4、子ども

問八、筆者のいう「ネットワーク・アイデンティティ」の説明として不適当なものを、次から一つ選びなさい。(解答番号12)

- 1、西洋時代の一神論的思考に、日本人が縛られすぎているという状況から抜け出すために考えられた。
- 2、宗教的な用語で表現すると、「私」を支えるものを「存在者」ではなく「存在」であると考ええる。
- 3、自分の心にある自己は、外界のすべての人であり、意識も無意識も含んだ心の中心であると考ええる。
- 4、ネットワークとしての自己は、多重人格とは異なり、各人格の間にそれぞれ関係があると考ええる。
- 5、ネットワークにおいて自己がいまいになつたり一貫性に欠けたりする中で、個性がミガかれると考える。

問九、波線部「・」のこゝのこゝの意味を、それぞれ後から選びなさい。

「 黄金時代 (解答番号13)

- 1、最も文化・勢力・栄誉などが盛んな時期
- 2、最もお金に満ちあふれている時期
- 3、最も黄金が多量に算出される時期
- 4、最も人手が多く活気にあふれている時期

「 プロモートする (解答番号14)

- 1、促進する
- 2、興行収益をあげる
- 3、呼び寄せる
- 4、信仰する

二、15～19の口語動詞は共通の文法上の性質を持つものを集めたものである。ただし異質のものがまじっている。それをそれぞれ選びなさい。

- 15 1、着る 2、脱ぐ 3、砕く 4、戦う 5、集まる
- 16 1、読める 2、書ける 3、泳げる 4、なおせる 5、当てる
- 17 1、見る 2、似る 3、居る 4、来る 5、伸びる
- 18 1、知る 2、出る 3、する 4、寝る 5、得る
- 19 1、読んで 2、消して 3、散って 4、注いで 5、頼んで

三、20～25の漢字の読みとして最も適当なものをそれぞれ選びなさい。

- 20 涸落 1、しゅうらく 2、しゅらく 3、しょうらく 4、ちゅうらく
- 21 隠蔽 1、いんしょう 2、いんじやく 3、いんとん 4、いんぺい
- 22 絢爛 1、かんらん 2、きんらん 3、けんらん 4、こんらん
- 23 未曾有 1、みそお 2、みぞう 3、みぞお 4、みぞゆう
- 24 遂行 1、ついこう 2、すいこう 3、ちくこう 4、しんこう
- 25 些細 1、しさい 2、しょうさい 3、ささい 4、いさい

四、26～30の傍線部にあてはまる漢字をそれぞれ後から選びなさい。

- 26 時世にアウ
- 27 忍びアウ
- 28 立ちアウ
- 29 難にアウ
- 30 話しアウ

- 1、会
- 2、合
- 3、逢
- 4、遭
- 5、遇

五、31～34の空欄に入る適当な漢字をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

31 () 期の目的はほぼ達成できたと言える。

- 1、所
- 2、初
- 3、庶
- 4、諸
- 5、書

32 (一)次、改善して行くよう、努力します。

1、善 2、然 3、漸 4、前 5、全

33 (一) 価は百五十円です。市役所に申し込んでください。

1、半 2、頒 3、版 4、般 5、煩

34 大(一)なく任務を終え、安心した。

1、火 2、化 3、過 4、果 5、可